

目の目良

香合のたのしみ
有馬頼底コレクション

舞台裏の辰星たち 蕨山龍泉堂 川島公之
潮田洋一郎 茂木健一郎 朽木ゆり子

前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	前頭	小頭	大頭	安政二年卯
赤洲	呉洲	青洲	胡洲	同洲	同洲	同洲	同洲	同洲	同洲	交趾	
水牛	張甲	泰皮	一葉	柳葉	桔梗	引子	哥羅	桃梗	雀舌	過堂	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
赤洲	呉洲	青洲	胡洲	同洲	同洲	同洲	同洲	同洲	同洲	交趾	
赤洲	呉洲	青洲	胡洲	同洲	同洲	同洲	同洲	同洲	同洲	交趾	
赤洲	呉洲	青洲	胡洲	同洲	同洲	同洲	同洲	同洲	同洲	交趾	



アジアウィーク NY レポート

Japan Society

WHEN PRACTICE BECOMES FORM:
CARPENTRY TOOLS FROM JAPAN

March 11–July 11, 2021

ジャパン・ソサエティー「技が形になる時：日本の大工道具」展

下：薬師寺東院堂組物模型(手前) 縮尺 1/2 竹中大工道具館蔵

©Naho Kubota Courtesy of Japan Society

朽木ゆり子



昨年の3月13日、アジアウィーク開催中にメトロポリタン美術館がコロナウイルス感染予防を理由に閉館し、他の美術館もそれに続いてから1年が経った。甚大な被害を被ったアメリカだが、ニューヨークでは1月下旬からワクチン接種が徐々に広がり、街には少しずつ賑わいが戻ってきている。

そんな中で今年のアジアウィークは、オンライン参加ギャラリー29、対面型参加ギャラリー13、競売6社、その他にメトロポリタン美術館、ジャパン・ソサエティー、ルービン美術館、ノグチ美術館などが緩やかに参加して行われた。対面型ギャラリーも美術館も事前予約制。

昨年3月以来ずっと閉館していたジャパン・ソサエティーの再オープン展「技が形になる時：日本の大工道具」は、ユニークな企画だ。これは日本の伝統的な木造建築に使われる様々な大工道具を紹介する展覧会だが、釘を使わないで寺や神社、橋などを建てる日本の高度に洗練された技術と歴史に焦点を当てている。現代建築家、藤本壮介の展示デザインが特徴的で、美しい照明の下に並んだ建材や道具が異彩を放つ刺激的な展覧会となった。

そして3月16日に行われたクリスティーズの競売で、伊藤若冲と葛飾北斎の作品が記録的な高値で落札されたことでアジアウィークにぐんと活気が出た。北斎の「神奈川沖浪裏」は2バー



Photographic Courtesy of The Metropolitan Museum of Art

Metropolitan Museum

Japan: A History of Style March 8, 2021 – April 24, 2022

メトロポリタン美術館「日本：スタイルの歴史」展

右：雪村友梅筆 墨蹟 南北朝時代（14世紀前半）／江月宗玩作 二重切竹花入「宸涼」桃山～江戸時代初期（17世紀初期）

左：酒井抱一筆「桜楓図屏風」

江戸時代（1820年代初期）



Photographic Richard Goodbody. Courtesy Joan B Mirviss LTD.



Joan B Mirviss

Tradition Redefined

Rosanjin and His Rivals

ASIA WEEK NEW YORK

March 11 – April 23, 2021

ジョーンB マービス

「伝統再定義：
魯山人とそのライバル」展

右：北大路魯山人作
椿鉢 1940年頃

左：北大路魯山人展示
作品の数々

ジョン出品され、状態の良い方が159万ドル（約1億7000万円）という北斎史上最高額で落札された（もう1つのバージョンは約44万ドルで落札）。若沖の「旭日松鶴図」も、史上最高額の159万ドルで落札。

メトロポリタン美術館の展覧会は「日本：スタイルの歴史」で、この数年間に購入、あるいは寄贈された新しい作品を中心に構成されている。絵画、書、浮世絵、陶磁器、工芸品など質の高い作品がずらりと並んでいる。酒井抱一の「桜楓図屏風」、江月宗玩の「二重切竹花入」、夢窓疎石の書、初期浮世絵・菱川師宣作品群などあげればきりが無い。また、大角幸枝、玉川宣夫など人間国宝の金工作家の作品もまとまって展示されている。ジョン・B・マービス画廊の「魯山人とそのライバル」展は、歴史的観点で魯山人の作品を捉え、荒川豊蔵、加藤唐九郎、小山富士夫といった名匠と並列させた大規模な展示で話題になった。

展覧会はどこも好評。また満員で事前予約が取りにくいことから、ほとんどの画廊展示が延長され、3月下旬まで楽しむことが可能になった。

くちきゆりこ

東京生まれ。ジャーナリスト

ニューヨーク在住。「フェルメール全点踏破の旅」「東洋の至宝を世界に売った美術商——ハウス・オブ・ヤマナカ」、『邸宅美術館の誘惑』など著書多数。